



横須賀エリアニュース

まんまる

Yokosuka Kamakura Zushi Hayama Miura

2017年9月25日
発行：横須賀エリア経営会議
問い合わせ：エリア活動推進課
TEL：045-470-6863

Vol.110

横須賀の大自然のなかで 親子で平作川源流たんけん

平成 29 年 7 月 29 日（土）、横須賀市阿部倉周辺にて、たまにお日さまが現れるお天気のもと開催しました。夏恒例のこの催しは、毎年好評で今回 7 回目です。案内して下さるのは横須賀「水と環境」研究会。2009 年度のパルシステム神奈川ゆめコープ市民活動応援プログラム支援団体に選ばれ、それ以来のつながりです。



バス通りから源流に向かって歩いて行くと、横須賀の街に里山の風景が広がり、やがて道はアスファルトから山道へ。せせらぎが聞こえてきたら、おとなも子どもも川を歩いて源流探検したり、川にすむ生物を見つけたり♪ 川遊びを楽しみました。これをきっかけに、子どもたちに自然の偉大さや、自然を守る必要性など感じてもらえたら、と願っております。(HS)



バス通りから少し奥へ



今年は水量が少なかったです



生きもの調べ



サワガニ・ヘビトンボ・カワゲラなど

★「やっぱり石けん！」ミニプレゼンテーション★

6月15日（木）横須賀センターにて、パルシステム商品開発の担当職員による、リニューアルされた『やっぱり石けん！洗濯用粉石けん』についてのミニプレゼンテーションが行われました。合成洗剤と洗濯用粉石けんの違い、リニューアル新商品の改善点などについて詳しい説明があり、質問にもていねいに答えてくださいました。

合成洗剤と粉石けんの成分の違い（粉石けんは下水処理されたあと河川や海に流され、自然に分解され生物に無害な物質になりますが、合成洗剤は分解にとっても長い時間がかかること）などを、詳しく知ることができました。また、洗濯用粉石けんの使いにくさとしてよく挙げられる「粉飛び」、「水温が高くないと溶けない」、また「洗濯物を入れる前にあらかじめ水に溶かす手間がかかる」が改善され、洗濯槽に入れた洗濯物に直接振りかけても大丈夫になった、などの説明を受けました。

写真は「粉飛び」についての実験です。黒い紙の上にプラスチックの筒を置いて粉石けんを落とすと、粉飛びの違いがはっきりと分かります。（左がリニューアル前、右がリニューアル後。）

また、ドラム式洗濯機でも使えること、表記成分にある「金属封鎖剤」は金属ではないこと、などの質問にも答えてくださいました。サンプルもいただき、使用した方からは「タオルが乾いてもしっとりやわらかい」などの感想をいただきました。環境にもやさしい洗濯石けん、おすすめです。(YK)



右：リニューアル後
顆粒状になって粉飛び大幅減！

センター長のつばやき

組合員のみなさま、いつもお世話になっております。横須賀センター長の中村秀明です。

ほんもの実感の取り組みとして、横須賀センターにて食品をいしく無駄なく、食べるための活用法・保存食づくり「梅干し作り」に初めてチャレンジしました！！梅は、パルシステム神奈川ゆめコープの交流産地である、(有)ジョイファーム小田原の梅を使用しました。材料は、梅・塩・氷砂糖だけ！！日本の伝統保存食づくりを体験した感想として、梅を追熟している時のフルーティーな香りがとてもよかったのが印象に残りました。組合員のみなさまも、来年チャレンジしてみてください。



このマークがあるびんは、生協に返してね！

★ 7月リユースびん回収率★

供給量：5,586本 回収量：4,784本 回収率85.6%

編集後記：暑さがひと段落し、レジャーに最適の季節がやってきました。秋のハイキングに関根川はいかがですか？(AK)